

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年8月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104548
法人名	医療法人 敬天会
事業所名	グループホーム いしき
所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷台4丁目34番50号 (電話) 099-229-1010
自己評価作成日	平成28年6月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年7月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームが開所して11年目を迎えました。当初より、施設の理念を元に運営してきております。特に季節を肌で感じられる生活という理念を大事に、毎月、施設内行事を実施しており、ご利用者様にも喜ばれています。特に夏祭りは一大行事であり、近隣の方々やボランティアの方々にも参加していただいております。

当施設が目指すものとして、ご利用者様の健康に留意し、生きがいのある安全な生活を送っていただくことを目標としています。

また、最近、施設での看取りを希望されるご家族が多く、それに応えるべく、数年前より看取りについての指針を設け、現在に至っています。人間の終末期、尊厳を持った最期を迎えるために、スタッフ一同努力して参ります。

・当グループホームは母体が医療法人であり、共用型通所介護が併設され、有料老人ホームが隣接している。施設内行事の連携や緊急時の対応が整っている。

・建物は耐震構造で室内はオゾン発生装置を設置し脱臭・消毒のできる室内環境であり、今年は風邪の罹患者がでなかった。

・理念を柱として利用者の一人ひとりの人権を尊重した、その人らしい暮らしを支援している。

・市主催の清掃作業や廃品回収に参加している。小学生の訪問で、ゲームや折り紙などで会話を楽しんでいる。法人の夏祭りには、近隣住民の参加があり、日常的に交流している。

・マニュアルを中心に身体拘束廃止委員会を毎月開催し、事例をあげ意見交換をして、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。法人内研修は年2回、勉強会を行っている。

・重度化や終末期に向けた方針がある。重度化や終末期になった時は、家族と相談して全職員が共有しチームで取り組んでいる。看取りの事例がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の唱和をして、意識付けしている。 毎月行事を実施している。	理念をホームの各所に掲示し、パンフレットにも掲載している。申し送り後に唱和しミーティング等で確認している。理念を基に一年の行事予定を企画書として作成し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2ヶ月に一度の運営推進会議には、民生委員さん・ご家族の参加をいただいている。 地域の小学校との交流がある。	市主催の清掃作業や廃品回収に参加している。小学生の訪問で、ゲームや折り紙などを使い会話を楽しんでいる。法人の夏祭りには、近隣住民の参加があり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	実習生の受け入れ。 ボランティアの行事参加等で、認知症の理解や接し方を深めてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域包括・民生委員・ご家族・職員を交え、2ヶ月毎に開催して意見交換を実施している。利用者様の介護度、施設の空床状況などを伝えている。</p>	<p>運営推進会議は定期的開催している。利用者状況や行事報告、事故報告等を行い意見交換している。家族からの意見があり、週1回程度、パン食を献立にと提案があり導入する等、意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターとの連携は、2ヶ月毎に運営推進会議を実施し連携している。</p>	<p>書類更新時に窓口に出かけたり電話で情報を伝え、広報誌「いしき定期便」や新しく発行したパンフレットを持参したり、空き室が出たときなど相談してアドバイスを受けている。市主催の研修会には積極的に参加し日頃から取り組みを伝えながら、協力関係を築くよう連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設けて、月1回の全体会議の中で身体拘束について発表し、意見の交換を行っている。会議の中で身体拘束を取り上げ、勉強会を行っている。</p>	<p>マニュアルを中心に身体拘束廃止委員会を毎月開催し、事例をあげ意見交換をして、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。法人内研修は年2回、勉強会を行っている。一時的に危険がありベッド柵を使用時は、家族からの同意書をとっている。日中は玄関の施錠はせずに外に出たい時は、車椅子で散歩に同行したり、ドライブに行ったりして対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者・職員が対外の研修等に参加し、高齢者虐待防止法等を学び、それを持ち帰り、全体会議にて職員全員で勉強会を行う。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度について勉強会をしたことはあるが、管理者が対応するので、他の職員は理解が乏しい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約は、ご家族に対し内容を十分説明し、利用料金等についても、細かく説明して同意を得る事にしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族には月1回、いしき通信にて施設の情報をお知らせし、担当職員がコメントを書いている。運営推進会議にご家族の参加を頂き、率直な意見を出してもらうように心がけている。</p>	<p>利用者からは、アセスメントや日頃の会話から要望を汲み取り把握している。家族からは面会時や年に1回の独自のアンケート・運営推進会議時等、家族の意見や要望を聞いて対応している。「いしき通信」を毎月発行し、連携をとり意見や要望を把握している。散歩の回数を増やして欲しいとの意見があり、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の全体会議、毎週金曜日の定例会等で、理事長を交えて利用者の様子や起きている問題を取り上げている。</p>	<p>管理者は、職員と日常的にコミュニケーションをとり、意見や提案が言いやすい環境である。カンファレンスや毎月の全体会議で職員の意見を集約して対応している。不要な棚の整理やセンサーの設置場所・休日の取り方等、職員の意見や希望を聞いて、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>正社員への転換、夜勤手当、皆勤賞は、見直し行っている。時給等の見直しも行って欲しい。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の全体会議の中での勉強会や、社会福祉協議会等の主催する色々な研修に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>実施研修会で知り得た職員との交流を行う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用については、事前に面談を実施し、本人の思いや不安を受け止め、安心感を与えられるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が求めているものを理解し話し合い、事業所としてどのような対応が出来るか話し合いすることに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族の思い・状況を確認し、色々な選択肢の中から、本人により良いサービスが提供できるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の思いや苦しみ、不安・喜びなどを知ること努め、お互いが協働しながら、共に支えあえる関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様・ご家族様の思いを聞き支援し、月初めには月報にて施設内での出来事・利用者様の状態の情報を家族様と共有するようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会を、なるべく回数多く来ていただいている。	本人や家族から情報収集して馴染みの関係を大切にしている。知人等の面会の場合はお茶を飲みながらゆっくりと話をし、人との関係が途切れないように支援に努めている。暑中見舞いや年賀状の支援・電話をかけたりの支援をしている。近くの馴染みの店での買い物や訪問美容室、家族の支援を得て墓参り等も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来ない方のことを、出来る方がしてくださったり、目についたことを教えあったりして下さる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ケアマネージャーやご家族様を通じ、退所後の利用者様の状態を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを重視して、それののっとして、支援している。	日常の言動や表情から、思いを把握し、個々の意向や希望をケアプランに活かしている。意思疎通が困難な場合は、家族からの情報や過去の記録・職員間の連携をとり本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族から昔の思い出を聞いたり、関連医療機関より情報を収集するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のリズムを把握することに努め、出来る事を増やしたり、維持できるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	看護師・ケアマネージャーを中心に、職員全員で、月に一度カンファレンスを行い、情報の共有やアセスメントの見直しを行っている。	本人や家族の意向、必要な関係者の意見を把握して、看護師、ケアマネージャーを中心に職員全体で話し合い、意見やアイデアを反映して、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施、状況に変化があった時は、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとに記録があり、排泄・食事・水分量・服用・一日の行動など情報を共有し、必要に応じてアセスメント内容の検討も行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	2ヶ月に一度の散髪や、デイケアへの参加、訪問マッサージなど、必要に応じ取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設では、月に一度季節ごとの行事を行い、夏には夏祭りもボランティアに協力してもらい、利用者様も参加できるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回内科往診を依頼し、状態観察と処方をしてもらっている。また、必要に応じてその他の病院受診や、緊急時の対応を依頼している。	かかりつけ医は、本人や家族の希望を聞き支援している。在宅医は月に2回往診がある。他科受診は、家族が同行して対応している。受診結果は双方とも報告し連携をとっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の記録や報告を密にし、情報の共有が出来るようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院となった場合は、情報提供書のやりとりや、必要時ケアマネや病棟の看護師と話をし、出来る限り協働できるよう働きかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に近い利用者様が出た場合には、ご家族に意向を聞き、出来る事出来ない事の説明を行っている。また、医師や看護師、ご家族に情報共有できるように働きかけている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針がある。症状の状況により判断して対応している。重度化や終末期になった時は、家族の思いを聞き、全職員が共有しチームで取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に一度、AEDなど急変時の対応を学び、夜間はマニュアルに沿って行動ができるよう周知されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回防災訓練を行い、火災時の対応を学んでいる。</p>	<p>消防署の指導のもと、年1回夜間想定で防災訓練をマニュアルを中心に実施している。年1回は自主防災訓練も行っている。避難経路や避難場所の確認・誘導・防災設備の点検等を行っている。災害用の水やご飯・ビスケット・缶詰め・インスタント物などの備蓄がある。懐中電灯や全員のヘルメットなどの災害対応器具も用意している。建物も耐震構造になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の意思を尊重できるようなケアを心がけ、自己決定を促すような声掛けの工夫を行い、プライバシーを損ねないようにしている。	トイレ誘導や入浴介助等、羞恥心に気配りしている。人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねないように配慮している。マニュアルを作成し。研修などで学び特に言葉かけには注意を払っている。日常「さん」づけで呼ぶようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から本人の希望を聞きながら、自己決定できるよう努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人のペースを大切に、寄り添う介護を心がけているが、どうしても職員側の都合が優先するときがある。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	家族の協力ももらいながら、衣替えのときにお気に入りの物を持ってきてもらったり、入浴時に選んでもらう機会を作っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>本人の誕生日のときは、好みものを聞く等、対応している。普段はメニュー通りだが、行事食等は工夫を凝らしながら、利用者様に喜んでもらえる様に取り組んでいる。</p>	<p>新鮮な食材を使用し、時間をかけての調理で美味しく食事を行っている。誕生日には、好みの献立を提供している。きざみ食やミキサー食等、食べやすいように個々に配慮して調理している。利用者ができることを優先して買い物や皮むき・お盆拭き・下膳など、職員と一緒に楽しく行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>1人1人の嚥下状態に合わせた食事形態の取り組みや、疾患に合わせた食事量の提供を行っている。また、食事・水分量は記録し、把握に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、個々に応じて声掛けや介助を行っている。また、義歯に関しては、定期的に夜間ポリデント洗浄を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録を徹底し、排泄パターンを把握した上で、個々に応じてトイレ誘導を行い、トイレでの排泄が出来るよう取り組んでいる。	一人ひとりの排泄チェック表で把握し、声かけして、様子観察やしぐさなどで察知してトイレへ誘導支援を行っている。「オムツはずし」の取り組みも行っている。羞恥心や不安への配慮にも注意している。リハビリパンツから自立した利用者もいる。おむつの見直しも、個々に合わせて行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックをしており、便秘時の服薬を実施している。また、ヨーグルトやふかしいもなど、便秘解消できるように食事の工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	なるべく浴槽内に入れるよう支援しているが、出来ない方にはシャワー浴を実施し、週3回の入浴を実施している。	入浴は週3回を基本に行っている。希望があれば対応している。シャワー浴の希望もある。更衣や便失禁の時は羞恥心に配慮し入浴介助している。入浴を拒む利用者は現在はいない。無理強いしないようにして時間や職員を変えたり工夫をして楽しく入浴ができる様に配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努め、寝付けないときには飲み物を勧めたりして、配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用ケースに1人1人の名前が記載され、服用時には日付等確認して本人に手渡し、服用するまで見守りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かせる分野を把握し、洗濯物・おしぼり・新聞等、協力してたたんでいただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	1人1人の体調や希望に沿って、花のある時期等に戸外に散歩に出掛けたり、車で少し遠いところまでドライブしたりしている。春は花見、秋はコスモスを見に行っている。	一人ひとりの希望にそって、戸外や近隣の散歩に出かけている。年間計画をたて、都市農業センターなど遠足や花見に行っている。施設の夏祭りは盛大で楽しんでいる。外出が困難な利用者には、美化委員会で育てた花を眺め、お茶を飲んで楽しむこともある。家族と共に外食や墓参りに出かける利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つことの大切さは理解しているが、現状は現金を使うことがないため、利用者様本人が所持していることは少ない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が希望すれば、電話をかけて話していただいている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは、利用者様の作成されたものを掲示している。居室にも、本人の希望されるものを置いてもらっている。</p>	<p>共用空間は広く、照明や温度・湿度も適切である。天井にオゾン発生装置が設置され脱臭や消毒ができて心地良く、清掃が行き届いている。台所や事務室からダイニングが見わたせ、利用者の動きが見える。ソファも置かれいつでもくつろげるスペースになっている。季節感のある作品が掲示され、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間では気の合う利用者同士が隣り合わせで座ったり、1人で落ち着けるリクライニングの椅子でくつろげるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>寝具や棚、写真等を持ち込まれ、利用者様の居心地の良さに配慮している。</p>	<p>居室は整理整頓され安心して過ごせる部屋になっている。家から持ち込まれた、馴染みのテーブルやテレビ・家族写真・時計・暦・位牌や仏壇、自宅で使っていた小物なども飾ってある。利用者と家族で話し合い模様替えもしている。我が家の部屋づくりを、楽しんでいるようである。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>身体が自由に動ける方には、洗濯物たたみ・お盆拭き・おしぼりたたみ等がやりやすいように、テーブルを配置している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない